

ENSEMBLE SHINSHU IN MIYADA

第13回 定期演奏会

～ チャイコフスキーとメンデルスゾーンの夕べ～



チェロ・ソリスト/ドミトリー・V・フェイギン



ヴァイオリン・ソリスト/大谷康子

2015年 **7月3日(金)** 駒ヶ根市文化会館

19:00開演 [18:30開場] 全席自由 前売券/3,000円 当日券/3,500円 高校生/2,000円

〈演奏予定曲目〉メンデルスゾーン/ヴァイオリン協奏曲 チャイコフスキー/ロココの主題による変奏曲 他 ※未就学児入場不可

主催/「アンサンブル信州 in 宮田」を育てる会 共催/（公財）駒ヶ根市文化財団・宮田村・宮田村教育委員会 後援/駒ヶ根市・駒ヶ根市教育委員会・上伊那教育会・上伊那校長会

[チケット取扱所] ●宮田村/宮田村民会館(☎85-2314)・真慶寺(☎85-2993)・加藤テレビ(☎85-4220)・宮田カメラ(☎85-2265)
●駒ヶ根市/駒ヶ根市文化会館(☎83-1130)・桜屋商店(☎82-2570)・喫茶ブランタン(☎83-2961) ●飯島町/花空間(☎86-2154)
●伊那市/県伊那文化会館(☎73-8822)・宮坂ピアノ教室(☎78-5084)

[お問い合わせ] 「アンサンブル信州 in 宮田」を育てる会 ☎(0265)85-4220(加藤テレビ)

大谷康子 Photo / © 尾形正茂

アンサンブル **信州 in 宮田** MIYADA

未来を担う子どもたちにすばらしい音楽を!
音楽文化創造の拠点をアルプスを望む伊那谷に!
皆様のご協力で子どもたちにコンサートを
プレゼントします!

PROFILE

音楽芸術監督・指揮

兎束 俊之 Toshiyuki Uzuka

東京藝術大学在学中、安宅賞を受賞。卒業と同時にNHK交響楽団に入団。その後、ドイツ政府給費交換留学生として渡独。1968年バイエルン放送オーケストラ、ボン・ベートーヴェンハレ・オーケストラの首席ヴィオラ奏者を歴任。1975年フランス・ボルドー国際音楽祭ソロ部門にて銀賞受賞。1977年帰国以来、ヴィオラの新しいレパートリー開拓に尽力し、邦人作曲家の新曲初演を積極的に行う。1988年、オーケストラ・アンサンブル金沢発足以来、客員首席ヴィオラ奏者として出演。海外の著名な演奏家との共演も多く、1996年のメロス弦楽四重奏団(2002年再共演)や1997年のライナー・ホーネック指揮ウィーン弦楽ソリストとの共演は好評を博した。また、1986年スロヴァキア、1987年フランスのトゥールーズなどのヴィオラ・セミナーに招待を受け指揮に当たったほか、ミュンヘン国際コンクールにおいて、1996年弦楽四重奏部門、1997年ヴィオラ部門の審査員を務めた。教育面では東京藝術大学、愛知県立芸術大学、昭和音楽大学の講師を歴任し、2001年4月から2005年1月まで東京音楽大学学長を務める。2003年「アンサンブル信州 in 宮田」を設立し、音楽芸術総監督に就任。2005年4月より埼玉県鴻巣市文化センター「アンサンブル鴻巣ヴィルトゥオーゾ」代表芸術総監督。元東京音楽大学学長、名誉教授。前くらしき作陽大学副学長、大学院音楽研究科科長、顧問理事。



ヴァイオリン・ソリスト

大谷 康子 Yasuko Ohtani

東京芸術大学、同大学院博士課程修了。西崎信二、兎束龍夫、福元裕、海野義雄の各氏に師事。全日本学生音楽コンクール第1位。シェリング来日記念コンクール第2位。リサイタルやスロヴァキア・フィル、シュトゥットガルト室内楽団など国内外のオーケストラのソリストとして活躍。華のあるステージ、深く温かい演奏は聴衆に感動と喜びを届けてきた。本年12月キエフ国立フィルと共演予定。文化庁「芸術祭大賞」受賞。TV「題名のない音楽会」最多出演。東京音楽大学教授。東京芸術大学附属音楽高校講師。東京交響楽団ソロ・コンサートミストレス。川崎市市民文化大使。高知県観光特使。日本交響楽振興財団理事。使用楽器は1709年製ストラディヴァリ「Engleman」(日本音楽財団より貸与)。CD多数。ソニー・ミュージックよりリリースされた新譜『R.シュトラウス(生誕150年)/ベートーヴェン<ピアノは名手イタマール・ゴラン>も大きな話題となっている。【2015年秋、デビュー 40周年を記念して東京・大阪他でリサイタルを開催予定。】オフィシャルウェブサイト <http://www.yasukoohtani.com/>



チェロ・ソリスト

ドミトリー・V・フェイギン Dmitry Feygin

ロシア人チェリスト、ドミトリー・フェイギンは、有名なチェリストであった父、ヴァレンティン・フェイギンと、有名なチェロ教師であった母のもとモスクワに生まれる。その後、モスクワ音楽院に進み大学院修了。1991年モスクワ音楽院大ホールにて、指揮者A.ヴェデルニコフ(現ボリショイ劇場常任指揮者)により、チャイコフスキーの「ロココの主題による変奏曲」にてデビューする。今までに、ショスタコーヴィッチ国際コンクールや日本のビバホールチェロコンクールなどで数々の賞を受賞する。1986年からロシア国内外で演奏活動を始める。日本では、指揮者小林研一郎、広上淳一と共演し、今まで、京都交響楽団、名古屋交響楽団、読売交響楽団などと共演する。1995年からは、モスクワコンサートフィルハーモニーのソリスト。2003年に来日し、現在東京音楽大学の教授も務める。日本とロシアを中心にソロ及び室内楽で活動する。

